

適 用 規 格					
定 格	使用温度範囲	-40℃ ～ 85℃	保存温度範囲	-10℃ ～ 50℃（梱包状態）	
	電 圧	AC / DC 50 V	使用・保存湿度範囲	相対湿度90%以下（結露しないこと）	
	電 流	0.5 A（全芯数通電する場合は×70%）	適合ケーブル	t=0.3±0.05mm,接触部：金めっき	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観・構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	耐電圧	AC 150 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	500 MΩ以上	○	○
	接触抵抗	開回路電圧 AC 20mV以下、1 mA で測定する。	50 mΩ以下 ※ FPC, FFC 導体抵抗を含む。（L=8mm）	○	○
機 械 的 性 能	耐振性	周波数 10 ～ 55 Hz, 片振幅 0.75mm, 3 軸方向各 10 サイクル試験する。	① 1 μS以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 接触抵抗： 50 mΩ以下 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	衝撃	加速度 981 m/s ² , 持続時間 6 ms, 正弦半波 3 軸両方向各 3 回試験する。		○	—
	繰返し動作	20 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗： 50 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
性 能	F P C保持力	適合 F P Cで測定する。 （初期, F P C端末厚t=0.30mm）	①かん合方向 0.3×極数N以上 ②かん合垂直方向 0.2×極数N以上	○	—
	塩水噴霧	温度 35±2℃、濃度 5 % の塩水噴霧中に 96 時間放置する。	① 接触抵抗： 50 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。 ③ はなはだしい腐食がないこと。	○	—
環 境 的 性 能	温度サイクル	温度 -40→+15→+35→+85→+15→+35℃ 時間 30→ 2→3 → 30→ 2→3 分 に 5 サイクル放置する。	① 接触抵抗： 50 mΩ以下 ② 絶縁抵抗： 50 MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃、相対湿度 90～95 %中に 96時間放置する。		○	—
	温湿度サイクルの耐湿性	温度 -10～+65℃、相対湿度 90～96 %中に 10 サイクル（240 時間）放置する。	① 接触抵抗： 50 mΩ以下 ② 絶縁抵抗： 1 MΩ以上（高温時） ③ 絶縁抵抗： 50 MΩ以上（乾燥時） ④ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐熱性	温度 85±2℃中に 96 時間放置する。	① 接触抵抗： 50 mΩ以下	○	—
	耐寒性	温度 -40±3℃中に 96 時間放置する。	② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	二酸化硫黄 （JIS C 60068-2-42）	温度 40±2℃、相対湿度 80±5%, 濃度 25±5 ppmに 96 時間放置する。	① 接触抵抗： 50 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	硫化水素 （JIS C 60068-2-43）	温度 40±2℃、相対湿度 80±5%, 濃度 10～15 ppmに 96 時間放置する。	③ はなはだしい腐食がないこと。	○	—
	はんだ付け性	はんだ温度 245±3℃、浸せき時間 3±0.3 秒間のはんだ付けを行う。	はんだ浸せき面の 95 %以上が 新しいはんだでぬれていること。	○	—
はんだ耐熱性	1)リフローの場合 ヒート温度 250℃MAX リフロー部温度 230℃以上 60秒以内 2)はんだこての場合 350±5℃ 5秒間	外観の変形及び端子などに著しい ガタがないこと。	○	—	
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△					
備考			承認	MO. ISHIDA	13. 02. 04
			検 図	HS. SAKAMOTO	13. 02. 04
			担 当	RT. IKEDA	13. 02. 04
			製 図	SS. NABAE	13. 02. 04
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。					
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC4-349783-00	
HRS	製 品 規 格 表		製品名	FH40-**S-0.5SV (99)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL580	△ 1/1